

空き家への民間活力導入事業(三重県大台町)

課題と目的	空き家内部が不明瞭であるため、流通に支障をきたしている。このため、専門家の知見を所有者等へ情報開示し、流通の円滑化と民間事業者の事業機会の創出を目指す。
取組内容	①ハウスインスペクションの実施 ②空き家ツアーの実施 ③空き家再生ワークショップの実施
成果	①ハウスインスペクションの実施とそれに伴うデータベースの作成 ②空き家ツアーと空き家ワークショップの実施 ③先行事例調査の実施（広島県尾道市内・徳島県神山町内）

取組内容

利活用に向けた課題

- 物件の状態がわからず不安
- 改修にコストがかかりすぎる



マッチング率を上げるためにすべきこと

- 1. ハウスインスペクションの実施**
物件の状態や、客観的な価値を共有する。
- 2. 空き家ツアーの実施**
空き家再生事業グループとのコラボによる。
- 3. 空き家再生ワークショップの実施**
・空き家再生モデルの可能性について、関連事業者とともに検討し、将来に向けてのビジネスプランを検討する。

成果物

1. ハウスインスペクションの成果

評価	A	B	C	D
軒数	3	21	3	3

- A: 現状のまま利活用可
- B: 修繕後に利活用可
- C: 大規模修繕後に利活用可
- D: 解体

一定の管理をされている物件は A・B に該当することが多く、ほとんど見に来ないなど現状を把握していない物件は C・D になる傾向にあった。

2. 空き家ツアーの実施

空き家利活用希望者と町内建築事業者を交え、改築等に関するイメージをより、イメージし易いように留意し、実施した。



3. 空き家再生ワークショップの実施

空き家をリフォームし、住みやすい環境にした上で流通すべきと考え、町内の建築事業者に参画頂き、ワークショップを実施した。

